

# WEEKLY REPORT

国際ロータリー第2600地区 上田ロータリークラブ  
(創立1959年11月12日)

2022-2023年度 国際ロータリーテーマ

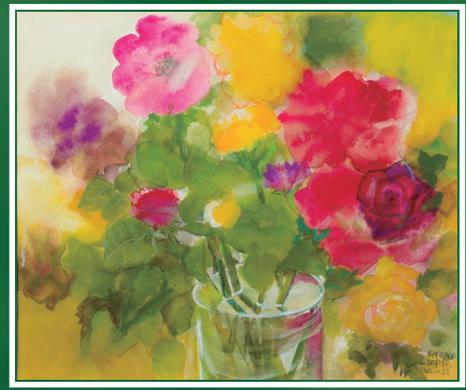
## イマジン ロータリー

R.I.会長 ジェニファーE・ジョーンズ

国際ロータリー第2600地区 ガバナー 上沢 広光

2022-23年度 上田ロータリークラブ

- 会長 矢島 康夫 ● 副会長 小幡 晃大・三井 英和
- 幹事 櫻井 雅文 ● 会報委員長 酒巻 弘



## 第2903回例会 (令和5年4月3日)



ホームページQR

### 【慶祝】

#### お誕生月(5名)

- 金子和照さん ● 高橋 鼓さん ● 滋野 眞さん
- 米津仁志さん ● 春原宏紀さん



#### 結婚記念日(4名)

- 柄澤章司さん ● 湯田勝己さん
- 矢島康夫さん ● 横沢泰男さん



#### 事業創立記念月(10名)

- 出田 行徳さん ● 滝沢秀一さん ● 金子 和照さん
- 柳澤日出男さん ● 窪田秀徳さん ● 北村 修一さん
- 比田井美恵さん ● 齋藤達也さん ● 布施修一郎さん
- 田中 克明さん



#### 皆出席(3名)

- 三井 英和さん(16年)
- 矢島 康夫さん(13年)
- 田邊利江子さん(3年)



## [会長挨拶]

矢島康夫 会長

皆様こんにちは。

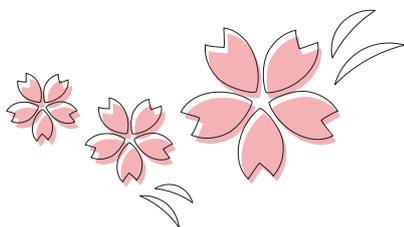
新型コロナも収まりつつある中、旅行も自由に行けるようになり、ホテルの朝食も制限なくビュッフェ形式が取れるようになってきました。本日は、旅行サイトのトリップアドバイザーで毎年発表されていましたが、コロナ禍で2020年の11回目の発表を最後にしばらく発表がされていませんが、朝食がおいしいホテルランキングからトップ3の紹介をします。

2020年第1位に輝いたのは、北海道札幌市にあります「ホテルクラブサッポロ」です。札幌駅から徒歩12分の場所に位置し、大通り公園にも近く便利な場所にあります。建物は少々古くなりましたが、朝食ビュッフェは、美味しい地元産の食材を生かした料理が楽しめます。

第2位は、それまで7回連続で1位を維持してきた神戸にあります「ホテルピエナ神戸」です。神戸三宮から徒歩5分ほどの立地の良さと北野異人館街にも徒歩圏内という観光にも最適な場所にあります。朝食は、種類も多く特に地元野菜をふんだんに使ったサラダやポトフは絶品との評判があります。また、スイーツは種類も多く、パティシエ渾身のケーキは、朝からスイーツ好きにはたまらない朝食となります。

第3位は、函館にあります「ラピスタ函館ベイ」です。函館駅から徒歩15分、金森赤レンガ倉庫とベイエリアから徒歩3分という立地と天然温泉を併設しているアールデコ調の部屋です。部屋には、コーヒーミルが用意されていて引き立てのコーヒーを楽しむことができます。朝食は、和食を中心としたビュッフェ形式です。種類の多さと何と言っても新鮮な海産物が食べ放題なのが人気です。特にイクラは盛り放題でおいしい海鮮丼が食べられます。

このほか4位以下には、北海道のホテルが多くランキングされていますが、2020年の特徴は、金沢のホテルが頑張っています。旅行に行かれる折には、ランキングを参考にホテルを選んでみてはと思います。



## [会員卓話]

柳澤日出男さん

自動車業界は、「100年に一度の大変革期」を迎えているといわれています。

それは『Electric (電気自動車・EV化)』『Connect (IoT化)』『Autonomous (自動運転化)』『Shared & Services (カーシェアリングの浸透)』の、四大潮流です。

そのうちの『Electric (電気自動車・EV化)』について興味深いニュースがありました。

## [EU、エンジン車の販売2035年以降も容認へ 全面禁止の方針転換]

2021年7月、EUは乗用車や小型商用車の新車によるCO<sub>2</sub>排出量を35年までにゼロにするために、ハイブリッド車(HV)を含むガソリン車の販売を事実上禁止し、電気自動車(EV)や燃料電池車等のいわゆるゼロエミッション車(走行時に二酸化炭素などの温室効果ガスを排出しない車両)に限定する方針(2035年EV化法案)を示した。

2021年10~11月のCOP26(国連気候変動枠組条約第26回締約国会議)で主要市場は2035年までに、全世界では2040年までに販売する全ての新車を「ゼロエミッション車」にすることを目指すという共同声明を発表した。議長国であった英国をはじめ、スウェーデン、カナダ、ニュージーランドなど38か国とメルセデスベンツ、フォード、GM、ボルボなど自動車メーカー11社が署名した。日本、アメリカ、中国、ドイツと日本の全自動車メーカー、BMW、フォルクスワーゲン、プジョーなどは署名しなかった。

2021年の欧州委員会の提案(2035年EV化法案)は、2022年10月に欧州委員会、欧州議会、閣僚理事会の三者間で最終合意に達し、2023年2月14日に立法機関である欧州議会で採択された。各国の正式承認を経ての法制化を予定していた。

2023年2月28日、自動車メーカーを多く抱えるドイツが“ゼロエミッション車にe-fuel(合成燃料)のみで走行する内燃機関(エンジン)車を含めない限り、法案を支持しない”と表明した。この表明にイタリアやポーランド、ポルトガル、東欧チェコ、ブルガリアなど他の加盟国の一部も同調した。

2023年3月27日、エンジン車の新車販売の禁止を目指していたEUは、二酸化炭素の排出が実質ゼロとされるe-fuel（合成燃料）の使用を条件にエンジン車の新車販売の継続を認めることで、域内最大の自動車生産国であるドイツと合意した。

【EU、エンジン車の販売2035年以降も容認へ 全面禁止の方針転換】、【EU、エンジン車の販売2035年以降も容認へ 全面禁止の方針転換】と発表された。

日本自動車工業会の豊田章男会長（トヨタ社長）は内燃機関自動車廃止に対し、「敵は炭素であり、内燃機関ではない」と反論しましたし、「カーボンニュートラルへの道はひとつではない」として、水素エンジンやe-fuel、バイオ燃料に言及していました。

電気自動車は脱炭素化に適っていますが、カーボンニュートラルのための手段のひとつに過ぎないことを再認識するうえで、今回のEUの騒動は良いきっかけになりました。日系メーカーも、世界的な電気自動車シフトを見据えて、車種の開発や生産に努めていますが、その一方で、ハイブリッド車やプラグインハイブリッド車といった電動車に強みを持ち、その道による脱炭素化も模索し続けています。電気自動車の増産も回りつつ、ハイブリッド車やプラグインハイブリッド車といった電動車の道も追及するという日系メーカーの戦術は、正解であったと言えます。そもそも欧州のエンジン車の販売禁止の狙いのひとつは温暖化対策ですが、ハイブリッド車に強いトヨタなど日本メーカー対策の側面も大きいと考えられます。

### 「e-fuel(イーフェューエル)」について

石油の主成分は炭化水素（炭素と水素の化合物）で、石油を精製してつくられるガソリンや軽油は多種類の炭化水素の混合物です。e-fuelは、二酸化炭素（CO<sub>2</sub>）と水素（H<sub>2</sub>）を合成することでつくられる多種類の炭化水素の混合物です。つくられかたが違うだけで、両方ともほぼ同じものです。

e-fuelは、「人工的な原油」とも呼ばれています。

e-fuelを使ってエンジンを動かすと、排出されるCO<sub>2</sub>は通常のガソリンを使った場合と同じですが、製造時にCO<sub>2</sub>を資源として利用するため、CO<sub>2</sub>の排出量と吸収量を差し引いて全体としての排出量はゼロとなります。このため、カーボンニュートラルに適った「脱炭素燃料」と言われています。

e-fuelの良いところは、従来の「内燃機関」や、すでに存在している燃料インフラを活用できる点です。電気自動車や燃料電池車では新たな機器やインフラを整備しなければならないのにくらべて、導入コストをおさえることができ、市場への導入がよりスムーズになります。

これまでの化石燃料と変わらない使い勝手の合成燃料は、電気自動車ならではの弱点をカバーすることができます。たとえば積雪により停電が発生した地域への燃料配送、高速道路で立ち往生した自動車への給油、災害対応機能を持った全国のサービスステーションなどでは既存のタンクを活用した備蓄も可能です。国内で工業的に大量生産できることや常温常圧で液体であるため長期備蓄が可能であることなど、さまざまな優位性があります。

e-fuelがかかえている課題は、製造技術です。製造効率に問題があり、効率を向上させる必要があります。革新的な製造技術としてさまざまな方法が研究開発の段階にあり、今後の実用化が期待されています。

もうひとつの課題はコストです。現状では化石燃料よりも製造コストが高く、国内の水素製造コストや輸送コストを考えると、現状は1リットルあたり700円ほどになってしまいます。

経済産業省資源エネルギー庁では、2030年までに高効率かつ大規模な製造技術を確立、2030年代に導入拡大・コスト低減をおこなって、2040年までに商用化を目指すという計画が立てられています。

### 【幹事報告】

櫻井雅文 幹事

1. RI the rotarian 4月

2. 公益財団法人 米山梅吉記念館  
春季例会のご案内と賛助会員の  
お願い

米山梅吉記念館 館報春号

3. 地区事務所

メルボルン国際大会「ガバナーナイト！」のご案内  
ロータリー財団寄付明細表(2023年2月)

米山記念奨学会①寄付金納入明細総合表(2023年2月)

②寄付金納入明細表(2023年2月)

③表彰一覧(2023年2月)

④寄付金傾向(2023年2月)

次年度地区委員追加推薦のお願い

4. 会報恵送 上田六文銭RC、東近江RC



**[ニコニコBOX]**

関 勇治 委員長

石井懋人さん 伊藤典夫さん  
 内河利夫さん 小幡晃大さん  
 金子良夫さん 柄澤章司さん  
 北村修一さん 桑原茂実さん  
 小山宏幸さん 酒井喜雄さん



酒巻弘さん 櫻井雅文さん 春原宏紀さん 関啓治さん  
 関勇治さん 高橋鼓さん 滝沢秀一さん 田邊利江子さん  
 田原謙治さん 土屋勝浩さん 成澤 厚さん 布施修一郎  
 さん 三井英和さん 矢島康夫さん 柳澤日出男さん  
 湯田勝己さん 横沢泰男さん 米津仁志さん 保科茂久さん

本日喜投額 29名 ￥ 73,500

累 計 ￥1,519,000

**[例会の記録]**

司会：春原宏紀委員

斉唱：国歌「君が代」

斉唱：ロータリーソング「奉仕の理想」

- 慶祝
- 会長挨拶
- 幹事報告
- 会員卓話 柳澤日出男さん
- 例会後理事会

**[ラッキー賞]**

小幡晃大 副会長

布施修一郎さん  
 (米津仁志さんより、太郎吉パン)  
 保科 茂久さん  
 (成澤厚さんより、静岡・ゆず酒)  
 湯田 勝己さん  
 (成澤厚さんより、伊豆・金目鯛せんべい)



**[出席報告]**

春原宏紀 委員



	本日	前々回 (3/13)
会 員 数	56	57
出席ベース	53	54
出席者数	36 <small>コロナ欠席3</small>	41
出席免除(b) ( )内は出席者数	6(3)	6(3)
出席免除(a)	0	0
メイクアップ ( )内はMake up 後		2(43) <small>コロナ欠席3</small>
出席率	73.58	85.19

**[本日のランチ]**

- 幕の内弁当
- (鰻)御飯
- 吸い物



**[IDMが開催されます]**

柳澤雄次郎 委員長

◆ 5月15日(月)うな藤にて  
**第3回 IDM「うなぎの回」**が  
 開催されます。

島田甲子雄パスとガバナー・  
 桑原茂実職業分類(会員選考)  
 委員長からのお話



**[次回例会予定]**

4月24日(月) 会員卓話 湯田勝己さん

『ロータリーの友』紹介

(4月10日発行)

[会報担当]酒巻 弘 委員長

